

道央知的しょうがい者福祉施設協会 オンブズマン事業報告 参加報告

道央知的しょうがい者福祉協会では、3名のオンブズマンに協会の中から2か所の施設を1年3回の利用者の面談を行ってもらっています。今回11年間オンブズマンをやっていた金指氏が29年度を持って退任されることになりました。今回のオンブズマン事業報告は、11年間オンブズマンとして、活動してこられた金指氏から総評としてお話をしてくださいました。

お話しの中から抜粋してご報告をいたします。

【11年前と変わってきたこと】

- ・施設の部屋が個室になった事。仕事や作業から戻ると一人でTVや音楽を楽しめる環境になった。
 - ・グループホームやアパートで生活できるようになった。
- ※普通にちかづいたと言っていた利用者がいた。
- ・工場や農家などで働ける・実習などできるようになった。
 - ・外出行事が増えてきた。
 - ・食事に対する満足度が増えてきた。

【面接をして利用者の方が嬉しそうに話してくれたこと】

- ・自分の言ったことを信じてくれたこと
 - ・職員が優しくなった。
 - ・がんばったことをほめてくれた。
 - ・頼りにされることや「ありがとう」と言われた
- ※生きてきた中で怒られたり、疑われたり馬鹿にされたりする経験ばかりで、認められる経験が少ないから

【特に嬉しそうに話してくれたこと】

- ・自治会でアンケートを取ってアンケートから施設の行事を自分たちで決めた事
※自分たちのことを信頼してくれた！認めてくれた！喜び
- ・多くの利用者は、旅行を楽しみにしているけれど、どこに行きたいか聞くと、過去行ったところしか答えられないことが多い中、ある施設で、旅行先の資料をわかりやすく写真などで教えてくれて自分で選んで旅行にいけたこと

【おわりに】

利用者さん同士のトラブルが面接の中でも聞かれるが、利用者さん本人が自分に自信がない施設の中で利用者さんの自信・自尊心を高められるような取り組みが、他の利用者へのやさしさにもつながっていくものだと思う。